一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月19日

議 会 議 長 様

議席番号 1 番

議員氏名 岩 崎 直 美

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. HSPの対応 方法は	<p>HSPという言葉をご存知でしょうか。アメリカの心理学者エレイン・アーロン博士の提唱した心理学上の言葉です。音や匂い、光に強く反応したり、他者の感情を自分の感情のように感じたりする感受性、共感力の強い気質を表現したHighly Sensitive Personの略称です。</p> <p>HSPのひとつの特徴として刺激を受けやすいという特徴があります。日本人では、5人に1人の割合で存在するともいわれており、「繊細さん」と親しみを持った表現をされ、関連する本はベストセラーになっています。</p> <p>HSPは、決して特別な存在ではなく、精神的な疾患や病気ではありません。生まれながらの気質です。</p> <p>ご自身がHSPだと気付いていない無自覚の方も多く存在すると考えられます。HSPの方であれば、自身がHSPであることを自覚し、対処方法を知ることが、生きづらさを軽減する上で大切です。ご本人だけでなく、家庭や職場、教育現場などでHSPの存在をより広く認知していただくことで、HSPの方々の社会貢献につながるものと考えます。</p> <p>そこで、以下伺います。</p> <p>(1) HSPについての町の認知度は。</p> <p>(2) 職員の中で、HSPと自覚している方の存在は把握しているのか。</p> <p>(3) HSPと自覚している方に対する職場における対応方法はどうなっているのか。</p>	町長 副町長 教育長 人権・男女共同参画推進課長 健康支援課長 総務課長 子育て支援課長 学校教育課長 担当課長

5月19日 午前・午後 3時45分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
	<p>(4) 幼稚園・保育園の園児や、小中学校の児童生徒などで、そういった方がいるか把握しているのか。また、把握しているならば、その対応方法は。</p> <p>(5) インクルーシブな社会の実現への一歩として、町はHSPへの対応方法のワークショップなどを検討してみては。</p>	